

## 1 令和6年度第3回定例会

日 時： 令和6年8月23日（金）午後2時30分から午後4時00分

場 所： 中央図書館活動室2・3

出席者： （図書館協議会委員）委員5名  
（事務局）図書館長、企画運営担当1主査、  
総務担当主査、総務担当

会長 本日は委員2名が欠席となります。多摩市図書館協議会規則第4条により令和6年度多摩市図書館協議会第3回定例会を開催する。

事務局から配布資料の確認をお願いします。

事務局 配布資料確認。

会長 議題1 令和5年度多摩市立図書館事業評価について、事務局から説明をお願いします。

図書館長 資料1にある令和5年度多摩市立図書館事業評価については前回の会議において評価・意見を述べ協議していただいた内容を図書館協議会外部評価としてまとめたものになる。再度、各3項目の内容確認をし、決定したい。

取り組み4にある多摩市子どもの読書活動推進計画の推進については7ページに、取り組み11にある本館の機能強化については9ページに、取り組み16にあるICTの活用については11ページにある図書館協議会外部評価部分に記載されている通りである。

また、9ページ及び11ページの点線以下の記載については、追加で委員より意見のあったものになる。

会長 事務局から説明のあった議題1について、質問・ご意見等があれば発言をお願いします。

会長 取り組み4の⑧にある見え消しの部分は、事務局で訂正があったということか。各委員からの新しい意見以外は、内容に対する訂正の要望はなかったということか。

図書館長 図書館内部で訂正が入ったということになる。委員からは、新しい意見以外で訂正の要望はなかったが、補足追加がICタグの箇所であった。

会長 取り組み4については、おおむね好意的な評価になっている。加えて、今後に向けて様々な提案もあり良い。

- 会長 点線以下の意見は、あくまで個人的な意見なので、ご意見あればお願いしたい。
- 11 ページにある IC タグやデジタルサイネージの内容について、ご意見あればお願いしたい。
- 図書館長 デジタルサイネージの2つ目と3つ目の意見は、同じ事柄について二つの意見がある。表現の仕方に違いがあるが、うまくまとめて記載してもいいのではないかと考えるがいかがか。
- 委員 内容は、同じことではあるが若い方とそうでない方で捉え方に違いがあるのではないか。一つにまとめてもいいのではないか。
- 委員 角度が違うだけで同じことを言っているので、まとめていただいて構わない。
- 情報量は、デジタルサイネージを取り入れたことで図書館ホームページやチラシからの情報を減らしたということはないのでは。平置きのは、興味のある人しか手に取らないので、今までにプラスして画像により一瞬のうちに情報が流れるデジタルサイネージは、目にとまり、印象に残る人もいる。
- 会長 それではご意見に相違がなく、事務局でまとめることができるのであればお願いしたい。
- ちなみにデジタルサイネージは情報を常に更新していかないと飽きられてしまい、見られなくなってしまう。更新はしているのか。
- 図書館長 情報更新は、担当で随時おこなっている。
- 図書館長 チラシは、平置きになっていると目につきにくいので、目で目につくデジタルサイネージは引き続き更新しながら、それだけでなくチラシやポスターを近くに置く等して、更なる情報提供をしていきたい。
- 委員 近くにチラシがあれば、分かりやすい。探すのに時間がかかるので、便利な場所にあると良い。
- 委員 デジタルサイネージは3か所あると思うが、へなそうのへやにあるデジタルサイネージは見栄えはいいが、内容に変化がないので有効活用したほうがいい。
- 費用対効果があるのか、検討してもいいのではないか。
- 企画運営担当 旧本館の時は、パネルの形で設置していた。
- 1 主査 現在は、HP に掲載しているものを写真付きでデジタルサイネージに集約している。
- 入口にあるデジタルサイネージとは違って、更新が少ないの

は確かである。

委員

年表について、文字が小さくて読みにくい。

委員

へなそうるのへやのデジタルサイネージに他の情報は載せられないのか。子ども向けの情報を載せてみてはどうか。更新が少ないのであれば、毎月のお話し会の情報等を載せてもいいのではないか。

画像から音は出るのか。

企画運営担

現在、他の情報は載せていない。また、動画は音が出るため載せていない。

委員

パルテノン多摩にある電子画像は、音が出る。子どもは音に敏感なので、今後検討してもいいのではないか。

ただ、図書館なのであまり音は出さないほうがいいか。

図書館長

デジタルサイネージの内容更新をしつつ、有効に活用して欲しいと評価に追加するか。

委員

へなそうるのへやにあるデジタルサイネージは、サイネージにするほどの効果があるのか。

企画運営担

へなそうるのへやにあるデジタルサイネージは、視察時には見学者が見ているが、日常的には入口のサイネージほどではないと思われる。

会長

委員の意見を事務局でうまくまとめていただきたい。

委員

取り組み4の複本について、図書館の取り組み内容は認めるが、予算の範囲内で特におはなし会用の絵本について、引き続き充実して欲しい旨を加えて欲しい。

会長

複本については、基準にそって過不足なく購入していることから予算の範囲内でさらに充実して欲しいということで追加する。

図書館長

9ページにある追加の意見について、ご意見はあるか。

会長

ないようなので、評価の追加とする。

図書館長

今回追加・修正し、まとめた内容を改めて確認していただき、外部評価の決定とする。

会長

続きまして、報告1 多摩市の図書館（概要版）について、事務局より説明をお願いします。

図書館長

概要版は、各館の平米数・蔵書数・貸出数を令和6年3月末時点でまとめたものになる。

令和5年度のメインとしては、中央図書館が3月に竣工し、同年7月に開館、それに伴い永山図書館にあった障がい者サービスの拠点中央図書館に変更した。また、中央図書館と関戸

図書館にある活動室に施設予約システムが導入された。

図書館利用するためのカード登録者数は、53,833人。そのうちの市内在住者は40,758人となっている。多摩市の人口147,751人に対する市内在住登録者の割合は、27.6%と高めの数字となっている。

貸出数に関しては、資料にある通りで市民一人あたりの貸出点数が多摩市の人口と同様の市区のなかで第3位となっている。

予約数、パスワード等、レファレンス数、障がい者サービスの利用数、団体貸出数については資料の通りである。

裏面については、令和5年度に図書館における子どもへのサービス及び実施したイベント・講座になる。

決算額については、記載の通りである。

また、市との連携による展示事業についても多く開催した。

多摩市電子図書館サービスについても多くの利用があった。

会長 報告1について、質問・意見等あれば発言をお願いします。

会長 永山図書館に関しては、蔵書数に対して貸出数の数字が高くコスパが良い。

中央図書館来館者の100万人は、今月に達成するのか。

図書館長 今月100万人に達成する。

会長 100万人達成記念のイベントは行うのか。

図書館長 予定はしている。

会長 決算額にある図書館費に占める図書購入費の割合は、三多摩と比べてどうか。

図書館長 中央館が開館できたことにより、令和5年度は割合が多くなっている。

会長 例年のことではないので、あと1年経過してみないと比較ができない。

図書館側として、特質すべき事項はあるか。

図書館長 中央図書館をこれだけ利用していただいているなかで、地域館も引き続き利用していることが分かる。

委員 人口に対する登録者数は、多いほうなのか。

企画運営担当1主査 多いほうである。低いところは、20パーセントを下回っている。

登録の取り方は、自治体によって違いがあるので一概に比較がしにくい。

多摩市の図書館（概要版）に前年度の情報を入れるとよいの

ではないか。

副会長

他の自治体でもデータを入れていることが多いので、入れると前年度と比較しやすい。

図書館長

「多摩市の図書館」本編には、前年度の情報も入っている。

前田会長

続いて、報告2 子どもの読書活動に関するアンケート結果(概要版)について、事務局より説明をお願いします。

図書館長

資料3-1が一般向け、3-2が子ども向けにおこなったアンケート結果になる。

こちらのアンケートは、令和7年度の計画策定に向けて、図書館の利用実態及び読書環境の把握をすることを目的に実施されたものになる。

一般向けの対象は、中学生以上とし配布・回収方法については紙だけでなくロゴフォーム等で行えるようにした。

結果については、図書館ホームページにも記載があるのでご覧いただきたい。

集計結果内容で、問1の年代別にみると60代から80代以上の回答が半数と多く、中高生の利用が増えているものの回答率が低かった。

問5のよく行く図書館の回答としては、中央図書館が最も多く、選んだ理由として家や職場が近いだけでなく、開館日・開館時間の便利さや居心地の良さが挙げられていた。

問13の図書館のサービス認知度について、商用データベースやレファレンスサービスの認知度は低く、様々な行事を実施していても参加には至っていないことが分かった。

問14にある非来館サービス認知度については、ホームページについては多くの方が利用しているが、それ以外は、知らない・興味がないとの回答が多かった。サービスの内容をよりうまく伝えられれば利用者がサービスを認知し、利用率が上がるのではないかと考えられた。

問16にある図書館に力を入れて欲しいこととしては、紙の本を増やす、子ども向けのサービスが多かった。サービス認知度が低かった商用データベース等については、力を入れて欲しいとの要望は少なかった。

自由意見欄においては、施設・設備等のハード面での要望やサービス向上、蔵書について、閲覧席増加の件について意見があった。

子ども向けのアンケートについては、回答いただいたのが小

学2年生・5年生、中学2年生、高校2年生、大学生となる。

似たような問いについては、比較できるように記載させていただいている。総じて、学年が上がっていくごとに本に対する興味が薄れ、読書冊数が低くなっていることが分かる。

授業以外に図書館を利用するかの問いについても同様の傾向が見られた。電子図書館については、どの学年においても認知度が低かったので、今後PRしていく必要がある。

会長

報告2について、質問、意見等あれば発言をお願いします。

会長

問13にあるサービスの認知度について、多摩市の図書館(概要版)にもあるようにレファレンスサービスの年間相談件数が10万件を超えているのに認知度が低いのはなぜか。

実績がありながらも認知度が低いのは、利用者が来館して、職員に相談していることがレファレンスだと認識していないのではないか。

企画運営担当1主査

それはある。一般的なレファレンスのサービス内容の解説は記載しているが、利用者はサービス内容がレファレンスと捉えていないかもしれない。本の場所を尋ねることは、レファレンスではなく、きちんとした本に関する相談をすることがレファレンスと捉えている。

会長

言葉の乖離が出てしまうと有意な数字が得られないのではないか。よいサービスをしっかり周知したほうがいい。

委員

レファレンスサービスがどういうものか知らない人が多いのではないか。

図書館長  
会長

周知の仕方を工夫したほうがいいと考えている。

図書館は、一番敷居が低い公共サービスであって欲しい。

どんな相談でも気軽に聞ける場所であって欲しい。

会長

ナクソスは、利用が少ないのか。

企画運営担当1主査

ナクソスは、電子図書館サービスの音楽配信(クラシック)にあたる。

ナクソスは、パソコンでしか聴くことができないが、極端にログイン回数が低いことはない。

5回線配信しているが、混線して使えないという話は聞いたことはない。

一般向けのアンケートで回収場所によって、効率がよかったところとそうでなかったところがあったのか。

副会長

アンケートは配布をして、回収についてはどの場所に入れてもいいやり方なのか、それとも配布した場所で回収するやり方

か。

効率よく受けるにはどうしたらいいか、ヒントにもなるので詳細のデータがあるとよいのではないか。あわせて回収の年代別もあるとよい。

- 企画運営担当1主査委員  
配布をして、どの場所で回収してもいいやり方としている。回収場所の細かいデータはとっているか確認する。  
年齢層高めの人が利用しそうな場所が配布・回収場所になっているように感じる。
- 会長  
報告3 本のまち祭り実施報告について、事務局より説明をお願いします。
- 図書館長  
資料4に7月27日(土)に実施した本のまち祭りについて報告をする。こちらは、主催が多摩中央公園・多摩センター連携協議会となっており、会場は多摩センター周辺にある多摩中央公園・多摩市立中央図書館・パルテノン多摩など周辺施設にて実施した。図書館・多摩センター連携協議会・パルテノン多摩それぞれに図書館内でイベントを開催し、詳細は資料の通りとなる。その他の施設で開催されたイベントについては、裏面にある通りである。
- 会長  
報告3について、質問、意見等あれば発言をお願いします。
- 会長  
水辺のマルシェは、民間の事業者が実施したのか。
- 企画運営担当1主査委員  
公園が主体なので、公園が委託している民間のキッチンカーになる。  
本のまち祭りは、今回が初めてか。
- 企画運営担当1主査  
本のまち祭りというネーミングでの開催は、今回が初めてだが、昨年10月にブックパークにて、読書フェスタを公園と一緒に開催した。今回は、夏バージョンとして企画されたものになる。  
来年も同様に実施するとしたら、時期を検討したいと考えている
- 図書館長  
多摩センターの活性化としては、連携した取り組みを今後も続けていくことになる。
- 会長  
最後に報告4 利用者懇談会実施報告について、事務局より説明をお願いします。
- 図書館長  
資料はないので、口頭で説明する。  
利用者懇談会は、毎年実施しており、今年度も8月に実施をした。中央図書館には16名、東寺方図書館には10名が参加された。

令和5年度の多摩市立図書館の利用状況を説明した上で、現在検討中の（仮称）第二次多摩市読書活動振興計画についても状況報告した後、意見交換をした。意見交換したなかで出た内容は、大規模改修予定である豊ヶ丘・東寺方の地域館存続、レファレンス状況、地域館の蔵書増加、Wi-Fi設置等に対する意見があった。

会長 報告4について、質問、意見等あれば発言をお願いします。  
会長 ないようなので、本日の令和6年度第3回定例会は終了する。  
図書館長 次回の協議会は、10月16日（水）同じ場所・時間で開催する。